

世界株式を上回る設定来のパフォーマンスと ゼロ・kontakt・ビジネスの成長エンジンSaaSのご紹介

ZERO CONTACT



2020年11月5日

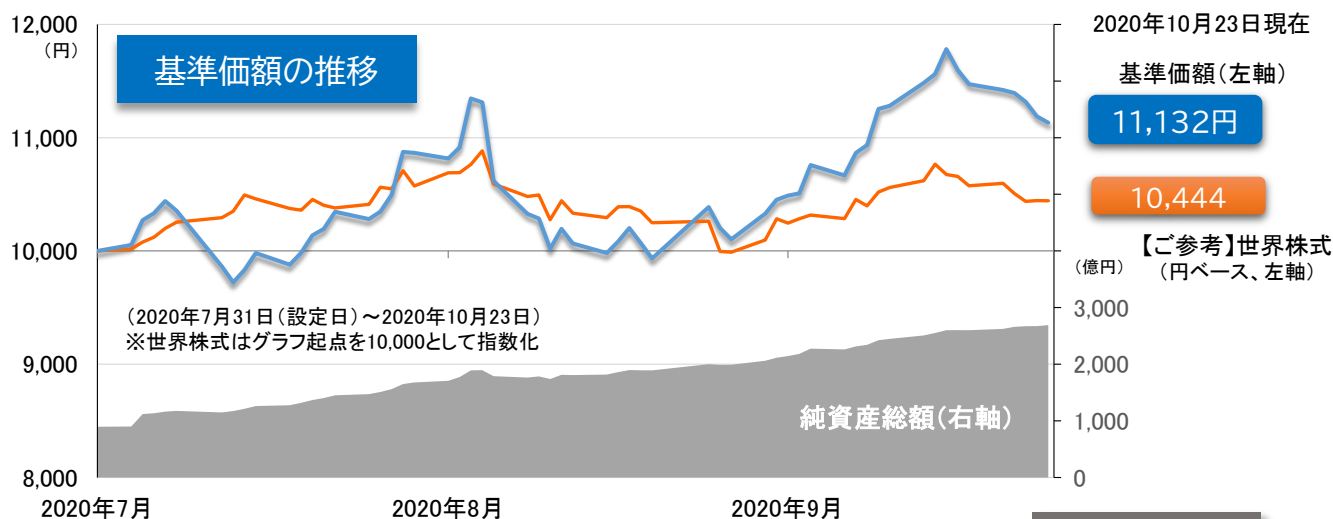
日興アセットマネジメント株式会社

設定来の基準価額と純資産総額の推移

当ファンドは、デジタル・トランスフォーメーション(DX)のなかでも、ゼロ・kontakt(非接触)ニーズのもとで飛躍的な成長が期待される企業に注目して、アーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(ARK)の助言を受け投資を行なっています。

設定来のパフォーマンスは変動が大きい株式市場の中でも相対的に堅調な推移となり、純資産総額は2,600億円を突破(2020年10月14日時点)しました。

本資料では、設定来の運用状況および、ゼロ・kontakt・ビジネスの成長エンジンの一つである、ソフトウェア・アズ・ア・サービス(SaaS)について、ARKの見解をもとにご紹介します。

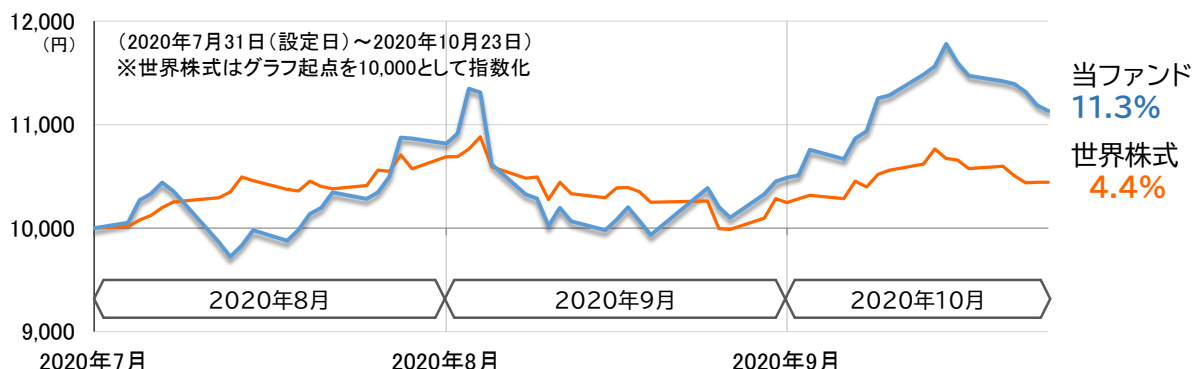


- 基準価額は信託報酬等(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。世界株式はMSCIワールド指数(米ドルベース、トータルリターン)の値です。世界株式は、当ファンドの基準価額の算出方法に合わせ、当ファンドの前営業日の世界株式の値に、当日の為替を適用して円換算した値を掲載しています。なお、上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。
- 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定以降の投資環境と当ファンドのパフォーマンス

(2020年10月23日現在)

- 設定来の騰落率は11.3%(2020年10月23日現在)と、同期間の世界株式より高い



- 基準価額は信託報酬等(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。
- (参考)世界株式はMSCIワールド指数(米ドルベース、トータルリターン)の値です。世界株式は、当ファンドの基準価額の算出方法に合わせ、当ファンドの前営業日の世界株式の値に、当日の為替を適用して円換算した値を掲載しています。なお、上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。
- 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

2020年8月

基準価額 8.2%
世界株式 6.9%

2020年9月

基準価額 ▲3.0%
世界株式 ▲4.2%

2020年10月 (23日まで)

基準価額 6.1%
世界株式 1.9%

騰落率

株式市場の概況

米国における追加経済対策を巡る与野党協議の行方を巡って神経質な値動きとなりながらも、発表される経済指標が総じて好調であったことなどから上昇しました。

米国や中国の好調な経済指標を好感し堅調な動きを見せる場面もありましたが、上昇続きだった米国テクノロジー株が短期的な過熱感などから急落しました。

米国大統領選挙の結果を見定めようとする動きや、欧州での新型コロナウイルス感染対策として行動制限がとられ始めたことなどが嫌気され、月後半から軟調となりました。

当ファンドの運用状況

フードデリバリー事業が好調な中国のeコマース大手や、有料会員数の伸びが評価されたシンガポールのオンライン・プラットフォーム事業者などが堅調な推移となりました。

一方で、増資を発表した教育向けコミュニケーションを手掛ける会社や、チャットを含む製品やサービスの一部がインドと米国で販売停止となった中国のオンラインサービス大手などが軟調な推移となりました。

ユーザー数の伸びが評価されたオンライン・フィットネスサービス企業や、テレビ用のオペレーティングシステム大手などが堅調な推移となりました。

一方、市場の軟調をうけ、クラウド型のコールセンターシステム企業や定額課金制の音楽配信サービス企業など、多くのテクノロジー企業の株価が値下がりました。

7-9月期の決算発表を受け、業績の伸びが見られたコールセンター業務などのオンラインサービス企業や、写真・動画共有のチャットアプリ企業などが堅調な推移となりました。

一方、業績は堅調であるものの市場予想並みにとどまったストリーミングメディア関連企業などは軟調な推移となりました。

- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ゼロ・コンタクト・ビジネスの成長エンジンであるSaaS(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)

デジタル・トランスフォーメーション(DX)の中でも、ゼロ・コンタクト・ビジネスに注目する当ファンドでは、投資対象を5つのカテゴリーに分けています(2020年10月現在)。

そのうち、①「リモートワーク」、②「オンラインサービス」、③「ストリーミングメディア」では、サービスの提供に、SaaS(サース)と呼ばれる仕組みなどを用いています。



写真はイメージです。

- SaaSは、ソフトウェアをオンライン上で定額料金にて提供するサービス
- 大規模なシステム投資が不要で気軽に利用が可能
- 新型コロナウイルス感染拡大により、必要不可欠なものに



※上記はイメージです。

SaaSとは、クラウドコンピューティング(クラウド)を用いて、ソフトウェアをオンライン上で定額料金にて提供するサービスをいいます。

特に企業における「リモートワーク」導入においては、従来、自社サーバーを用いた大規模なシステム投資を伴うことが一般的でした。しかし、**新型コロナウイルス感染拡大への対策に伴ない、企業が短期間でリモートワークの環境整備を迫られたことで、SaaSの需要が急増し、市場が急拡大しています。**



普及を加速させたSaaSのメリット(例)

利用者

- クレジットカード(決済・認証)とパソコン(作業場)さえあれば利用可能
- 更新やアップグレードをベンダー(提供者)が行なうため、必要なメンテナンスは少ない
- 基本的に定額利用方式であるため、買い切りに比べ初期負担が小さい

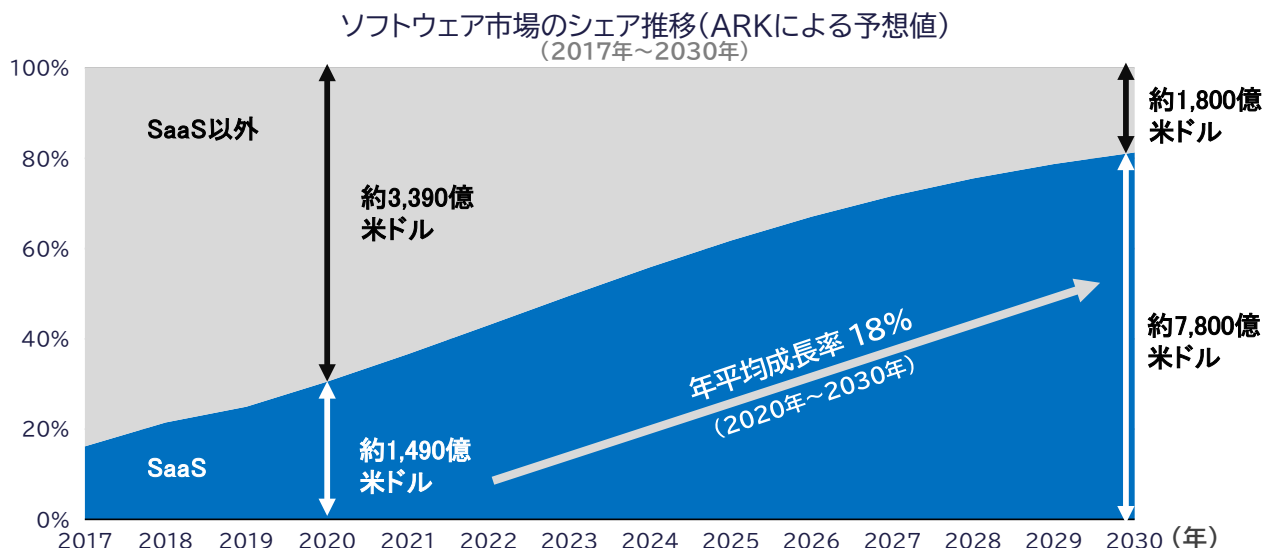
提供者

- クラウドを利用するため、自社でサーバーを構築する必要がない
- 契約は自動更新されるため、定額の売上が確保でき、売上高の予測精度が上昇
- 顧客の利用パターンなどの情報から、製品アップグレードや他商品の推奨が容易

● 当ページは、ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成しています。

引き続き大きな成長が期待されるSaaS

- 今後10年程度でソフトウェア市場全体におけるSaaSのシェアは8割程度に拡大の見込み



- ARKでは、いくつかの理由によりSaaSはこの先も成長を続けると考えています。

! SaaSが今後も成長を続けると考える主な理由

- 利用者がITサービスの購入先を分散化させていること
 - 企業が社内各部門の細かいニーズに合致するソフトウェアを導入しようとする場合 SaaSは導入の容易さやコストの安さの点で優位となり得る。
- セルフサーブ型およびバイラル型といった販売形態の強み
 - <セルフサーブ型> 無料版などにより、顧客自身が製品を試したうえで導入できる。
 - <バイラル型> 顧客の感想がネット上の口コミなどとして広がることで、顧客が営業担当者の役割を担う。
- 新型コロナウイルス対策として、リモートワークの投資が加速したこと
 - 新型コロナウイルス対策をきっかけに、企業は半ば強制的にリモートワークの投資を加速。

実際、スタートアップ企業から大企業に至るまで、多くの企業が生産性向上のためにGoogle Docs、ファイル共有のためにDropBox、ビデオ会議のためにZoomといったソフトウェアの導入を増やしています。

潜在的なユーザー数が非常に多いことに加え、定額制で継続利用されやすいことが、SaaSの安定的な売上につながると考えられます。

- 当ページは、ARKからのコメントや各種公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 当ページに掲載した銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

SaaSに関わる企業の例

[SaaSに関わる投資（2020年9月末現在）]

- 必ずしも大手ではないものの、高い技術をもった企業が専門性の高いソフトウェアを提供
- 立ち上げ段階にある企業も多く、今後の成長が期待できる

SaaSに関わる投資カテゴリーにおける当ファンドでの組入上位3銘柄

★印の企業は次ページで詳しくご紹介します。

① リモートワーク

	銘柄名称	国・地域	業種
1	★TWILIO INC - A（トゥイリオ）	アメリカ	ソフトウェア・サービス
2	★SLACK TECHNOLOGIES INC- CL A（スラック）	アメリカ	ソフトウェア・サービス
3	★PAGERDUTY INC（ページャーデューティ）	アメリカ	ソフトウェア・サービス

② オンラインサービス

	銘柄名称	国・地域	業種
1	★SEA LTD-ADR（シー）	シンガポール	メディア・娯楽
2	TENCENT HOLDINGS LTD （テンセント・ホールディングス）	中国	メディア・娯楽
3	FACEBOOK INC-CLASS A（フェイスブック）	アメリカ	メディア・娯楽

③ ストリーミングメディア

	銘柄名称	国・地域	業種
1	★ROKU INC（ロク）	アメリカ	メディア・娯楽
2	NETFLIX INC（ネットフリックス）	アメリカ	メディア・娯楽
3	SPOTIFY TECHNOLOGY SA （スポティファイ・テクノロジー）	ルクセンブルク	メディア・娯楽

ARKは、立ち上げ段階にある法人向けソフトウェア企業が多く、投資機会こそが、将来性に満ちていると考えています。

Amazon、Google、Facebookといった大手がそれぞれ得意としている市場では、他社が参入する余地は極めて少ないものの、企業で求められている、IT、営業、人事、財務、研究・開発といった分野では、**高い技術を持つソフトウェア企業に活躍の余地**があると考えています。

- 当ページは、ARKからのコメントや各種公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 当ページに掲載した銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

当ファンドに組み入れているSaaS関連銘柄のご紹介

※写真はイメージです。 ※1米ドル＝105円48銭(2020年9月末)で円換算

**TWILIO INC (トゥイリオ)**

時価総額:約367億米ドル(約3.8兆円)

インターネットを用いたクラウド上での電話の受発信、録音や転送、SMS送受信などのサービスを提供しています。

利用企業にとっては、初期費用の抑制に加え、各国での契約手続きが不要となるなどメリットが明確です。加えて、代表電話に入った通話の振り分けといった高度な機能も提供されるため、自動車配車サービスやオンラインショッピングなど様々なコールセンター業務での活用が見られます。

**SLACK TECHNOLOGIES INC (スラック)**

時価総額:約153億米ドル(約1.6兆円)

パソコンおよびスマートフォンなどのアプリとして、多機能なチャットツール、メールのやり取りやファイル共有に優れたシステム、また、グループチャット機能(カレンダー、予定表、タスク管理の共有など)を提供しています。

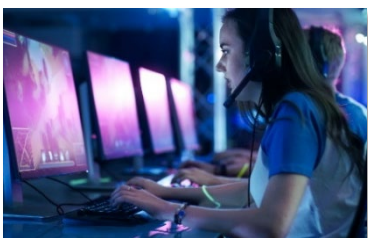
同社は、ビジネスにおけるコミュニケーションツールの分野でトップクラスにあることから、企業間のコラボレーションツールが広がることで、同社の顧客が新たな顧客を呼び込むことが期待されます。

**PAGERDUTY INC (ページャーデューティ)**

時価総額:約21億米ドル(約2,200億円)

主に企業のIT部門向けに、AIによる機械学習や自動化を通じてシステムの障害情報を集約し、必要な情報を選別して顧客に伝達できるシステムを提供しています。

加えて、障害の発生状況や対応状況をリアルタイムで把握することにより、障害を未然に防ぐことで、顧客の業務効率の向上、コスト削減につながる総合的なインシデント管理サービスを手掛けています。

**SEA LTD (シー)**

時価総額:約751億米ドル(約7.9兆円)

オンラインゲームに加え、eコマース、決済事業など急成長分野で事業を展開しています。

同社のゲームプラットフォームは3,500万人以上の有料ユーザーを抱えており、参加者同士のチャットやグループ構築などオンラインならではの機能を備えています。ゲーム自体の利用料ではなく、ゲーム内でのアイテム(武器や装飾品など)販売で収益を得ています。

**ROKU INC (ロク)**

時価総額:約235億米ドル(約2.4兆円)

独自の家庭用ビデオストリーミング端末の販売やテレビのプラットフォームとなるオペレーティングシステム(OS)を提供する事業を手掛けています。

米国での新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出制限を追い風に、同社のアクティブ・アカウント(稼働会員数)は4,000万人を超えています。テレビ視聴のスタイルが、ケーブルテレビからストリーミングへシフトしている流れを受け、大きな成長が見込まれます。

- 当ページは、ARKからのコメントや公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成しています。
- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

不確実性が高まる中、ARKがお伝えしたいこと

当ファンドの主要投資対象である外国投資法人の運用に助言を行なう、ARKの見方をお伝えします



Catherine D. Wood
(創業者、CEO / CIO (最高投資責任者))



コロナショック時、市場では何が起きていたのか

恐怖や不確実性、疑念と隣り合わせの時代には、企業や消費者は、これまでよりも革新的な製品やサービスを求めます。その結果、イノベーションがもたらす新たな市場が生まれ、それが普及してゆく中で、それに携わる企業は大きな市場シェアを獲得し急成長できるのです。

こうした業績の裏付けがあるにもかかわらず、新参(新興)企業の株式は一般的なインデックスにおけるウェイトが低い傾向にあります。そのため、市場が混乱するなかで多くの資金がインデックスに振り向けられると、適正と考えられる水準以上に売られる傾向があります。しかしながら、必要以上に売られた新興企業の株式はインデックスよりも早く回復する傾向にあります。実際、本年3月のコロナショックによる市場暴落の時もそうでした。

Q 2020年の米国大統領選挙 どちらの候補が大統領に選ばれるかで、状況は変わりますか？

ARKでは2020年の米国大統領選挙を含む現在の政治的動向や地政学的な不確実性が、イノベーションの長期的な成長軌道に重大な影響を与えるとは考えていません。

正式な選挙結果はまだ判明していませんが、民主党候補が新大統領に選ばれた場合、税金の引き上げと規制の強化が行なわれる可能性があります。多くの人が、これは米国の経済成長にとって好ましくないと考えているようですがARKではこうした問題をイノベーションが解決できると考えています。

つまり、民主党政権下で増税と規制強化が行なわれても、革新的な企業がこれらの問題の解決策を見つけ出すということです。一般的に、個人と法人それぞれの税金が引き上げられると、投資意欲の減退などを通して、新しいイノベーションの導入は抑制されることがありますが、コロナショックにより、企業はDXなどの技術を積極的に導入することを求められており、イノベーションの採用は長期的に続くと考えています。

また、共和党候補が再選されれば、減税が続くことからイノベーションの導入は着実に進むとARKは考えています。



※写真はイメージです

- 当ページは、ARKからのコメントや各種公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

ポートフォリオのご紹介①

(2020年9月末現在)

組入上位10銘柄

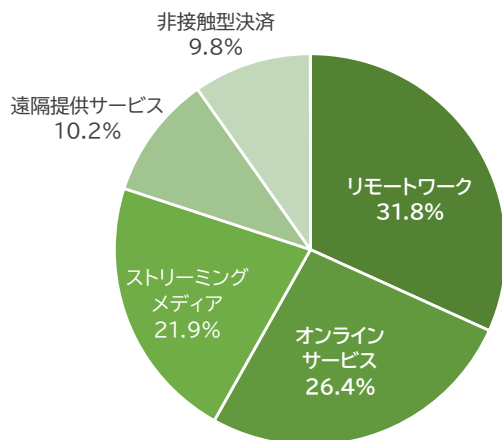
(銘柄数: 64銘柄)

	銘柄名称		国・地域	業種	組入比率
1	SEA LTD-ADR	シー	シンガポール	メディア・娯楽	6.4%
2	ROKU INC	ロク	アメリカ	メディア・娯楽	5.0%
3	MEITUAN DIANPING-CLASS B	メイトゥアン・ディエンピン	中国	小売	4.1%
4	TENCENT HOLDINGS LTD	テンセント・ホールディングス	中国	メディア・娯楽	4.0%
5	FACEBOOK INC-CLASS A	フェイスブック	アメリカ	メディア・娯楽	3.9%
6	TWILIO INC - A	トゥイリオ	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.8%
7	NETFLIX INC	ネットフリックス	アメリカ	メディア・娯楽	3.8%
8	SPOTIFY TECHNOLOGY SA	スポティファイ・テクノロジー	ルクセンブルク	メディア・娯楽	2.7%
9	SLACK TECHNOLOGIES INC- CL A	スラック	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.6%
10	SNAP INC - A	スナップ	アメリカ	メディア・娯楽	2.3%

- 個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
- 業種はGICS(世界産業分類基準)を用いて分類しています。
- 国・地域名は日興アセットマネジメントが信頼できると判断したデータに基づき、主として各銘柄の本社所在地を表示しています。
- 銘柄名は信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳しており、実際と異なる場合があります。

投資カテゴリー別比率

投資カテゴリー別組入上位銘柄



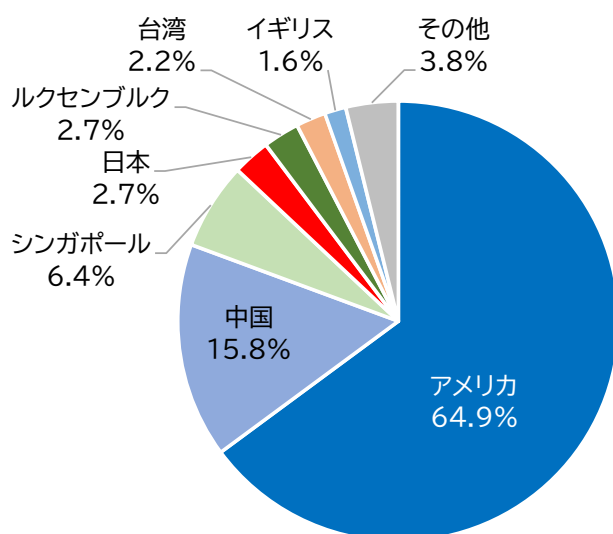
投資カテゴリー	銘柄名
リモートワーク	トゥイリオ
オンラインサービス	シー
ストリーミングメディア	ロク
遠隔提供サービス	メイトゥアン・ディエンピン
非接触型決済	スクエア

- 投資カテゴリーはARKが考える分類です。
- 組入比率はマザーファンドの純資産総額比率、投資カテゴリー別比率はマザーファンドの組入株式時価総額比率です。なお、端数処理の関係で合計が100%とならないことがあります。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

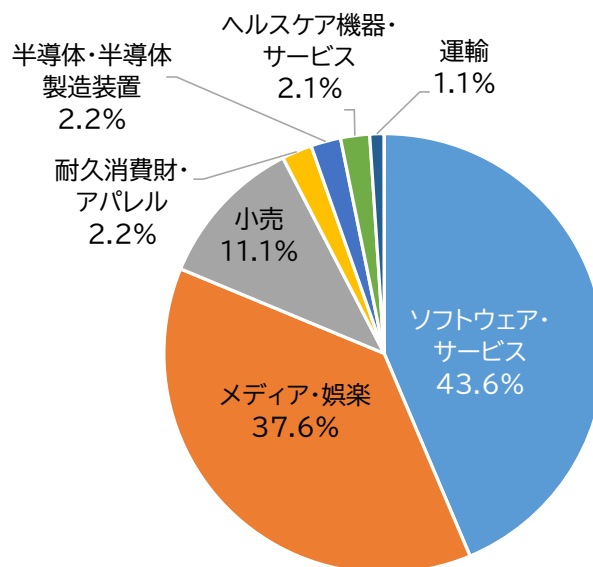
ポートフォリオのご紹介②

(2020年9月末現在)

国・地域別比率



業種別比率



規模別比率

時価総額	比率
超大型株(500億米ドル以上)	47.6%
大型株(100億米ドル以上500億米ドル未満)	36.1%
中型株(20億米ドル以上100億米ドル未満)	14.4%
小型株(20億米ドル未満)	1.8%

- 業種はGICS(世界産業分類基準)を用いて分類しています。
- 国・地域別比率および業種別比率はマザーファンドの純資産総額比率、規模別比率はマザーファンドの組入株式時価総額比率です。なお、端数処理などの関係で合計が100%とならないことがあります。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

ファンドの特色

1 主に、世界の上場株式の中から、ゼロ・コンタクト・ビジネスを行なう企業の株式などに投資を行ないます。

- 今後の成長が期待される、ゼロ・コンタクト・ビジネス(非接触型ビジネス)関連企業の株式(預託証券を含みます。)を中心に投資を行なうことにより、中長期的な信託財産の成長をめざします。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)からの助言をもとに、日興アセットマネジメントアメリカズ・インクがポートフォリオを構築します。

3 年1回、決算を行ないます。

- 毎年6月7日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

- 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

●リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様
に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

●その他の留意事項

- ◆ 当資料は、投資者の皆様は「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド(愛称:ゼロ・コンタクト)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ◆ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ◆ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ◆ 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ◆ 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2030年6月7日まで(2020年7月31日設定)
決算日	毎年6月7日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率1.7985%(税抜1.635%)</u>
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。 また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称			加入協会			
			日本証券 協会	日本投資顧問 協会 一般社団法人	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州 FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号	○			
九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第18号	○			
株式会社第三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○			
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			

(50音順、資料作成日現在)

